広げよう! ~ 関わり・学び ~

福山市立日吉台小学校 4年学年通信 No. 16 2022年(令和4年) | 2月8日

社会見学



平和記念資料館や慰霊碑を見学し、原爆のおそろしさを知るとともに、平和の大切さを知ることを目的に社会見学へ行ってきました。平和記念公園では、原爆ドームや原爆の子の像、被爆したアオギリ、原爆死没者慰霊碑など実際に見学しながら原子爆弾のおそろしさや戦争の悲惨さを学びました。平和記念資料館では、CGや当時の写真、服、建物の一部の展示を見ることができました。そこでは、街の壊滅具合や被爆の実相などを学びました。子ども達は、展示してあるものと説明書きを確認しながらしおりにメモを取ったり、友達と伝え合ったりして、学びを深めていました。

原爆ドーム

原爆ドームと元安川



被爆したアオギリ



原子爆弾が落とされた時の CG



原爆投下後の平和記念公園の様子



黒い雨

放射線による被害





原爆の絵と写真資料





ました。 展示してありました。後遺症によって命を落とす人がたくさんいたことが分かり 刺さっている展示がありました。建物が崩れ、下敷きになったり、飛ばされたりし できました。①爆風②熱線③放射線です。爆風では、数キロ離れた壁にガラスが て命を落とした人がいたそうです。人の背中やガラスのビンがとけている様子が 原爆資料館では、原子爆弾が多くの犠牲者を出した原因を詳しく学ぶことが

ら一発の原子爆弾によって日常が一変したことがよく分かり、戦争のおそろし さを感じました。 原爆の子の像の佐々木貞子さんについての展示もありました。展示を見なが

け野原になった広島の街の復興を表しているのだと思いました。福山のバラと似 ていると思いました。 長していました。その近くには、アオギリの歌が流れるようにされていました。焼 平和記念公園に植えてあるアオギリの木は被爆したにも関わらず、青々と成

今回の見学を通して、戦争は何も生まないなと心に刻みました。

苦しめたのだと感じました。戦争後に放射能によって視力を失った人がいまし やけどをしている写真を見ました。原子爆弾は大人子ども関係なく多くの人を たと考えると悲惨な状況なんだと思いました。また、僕と同じくらいの子どもが 能が含まれていることが書かれていました。黒い雨を飲むくらいのどが乾いてい での展示に黒い雨を飲んでいる絵がありました。その雨の中に原子爆弾の放射 て、よく分かりました。 た。原子爆弾の威力は最初分からなかったですが、実際に展示されている物を見 見学を終えて考えたことは、戦争はすごくこわいということです。平和資料館

横田

智生

12月の納金

12月の納金は5,000円です。

・給食費 255円×17回

335円

学年費

ちは、全国にたくさんいることを確認できました。

僕は、多くの人に平和記念資料館や平和記念公園に来てもらってここで起き

小川

航

たことを知ってもらいたいと思いました。

た。折り鶴を上手に活用して作られていました。平和への思いをもっている人た

原爆の子の像の周りには全国から平和のメッセージがたくさん届いていまし

140円

タブレット端末保守費

381円

・雑費

100円

・手数料

44円

計

000円 5.